



# 野生植物研究所だより



## ● 咲き出した屋敷内の植物 ●

3月31日、1市6町が合併し古川市も新たに大崎市となり、4月1日からは新年度も始まりました。いよいよ春の到来です。

### 【樹木の花】

研究所の屋敷内にある植物で、花の咲き始めた植物にどんな種類のものがあるか調べてみました。

樹木ではロウバイ、ウメ、アセビ、オニシバリ、ナニワズの5種類が花をつけていました。ロウバイは1ヶ月ほど前から花をつけました。オニシバリとナニワズは10日ほど前になります。

ウメとアセビは咲き始めたばかりです。去年はヤブツバキが咲いていたのですが、今年は蕾がだいぶ膨らんできたもののまだ咲いていません。マンサクは昨年かなり花を付けたのですが、そのせいか今年は花芽をつけませんでした。ウメ、アセビ、ヤブツバキなどは花が咲き出



ロウバイ



ウメ



アセビ



ナニワズ



オニシバリ

すのが昨年よりも1週間ほど遅いようです。アセビはツツジ科の有毒植物の1つで、馬がこのアセビの葉を食べると苦しむことから、馬が酔う木とも書きます。オニシバリとナニワズはどちらもジンチョウゲ科の植物です。どちらも黄色い沢山の花をつけますが、庭園に植えられるジンチョウゲに花の形や大きさが良く似ています。オニシバリの名はその樹皮が、鬼を縛り上げるほど強いということからつけられました。またオニシバリは別名ナツボウズ、ナニワズは別名エゾナツボウズとも言います。夏になると葉が全部落ちてしまうことからナツボウズとエゾナツボウズとつけられました。県内ではどちらも自生が見られますがナニワズはごく稀にみられるだけで大変めずらしいものです。

### 【草花の花】

草花で花の咲いていたものを上げますとフクジュソウ、ふつうユキワリソウと言っているスハマソウとミスミソウ、キクザキイチゲ、セリバオウレン、ヒメカンアオイ、ヤマネコノメソウ、フキ、クロッカスの9種類がありました。フクジュソウはかなり以前から花が咲いていて終り加減のものも多く見られました。また、雑草といわれているもので花が咲いていたものはハコベ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、ノボロギク、スズメノカタビラの5種類でした。

研究所の屋敷内では20種類ほどの草木の花が咲き出しています。これからヤブツバキやヒメコブシ、レンギョウ、ミツマタ、ヤマウグイスカグラ(方言:ヤマグミ)などの木の花も咲き始めます。草花の花も咲き出し、庭全体が若葉色に染まっていきます。皆さんも春を探しに新たな気持ちで外に出てみてはいかがでしょうか。



キクザキイチゲ



セリバオウレン



ヤマネコノメソウ



クロッカス

【連絡先】 〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字簀ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: [nagaguduwakichi@yahoo.co.jp](mailto:nagaguduwakichi@yahoo.co.jp)

URL: <http://www.wakichi.com/>